一つの花（東書4年上）

第一次指導

一よむ　五区画五人

①「ひとつだけちょうだい。」
②「なんてかわいそうな子
③それから間もなく、
④ところがいよいよ
⑤それから、十年の年月が

二とく

○題目
・花をもらったのは。　ゆみ子
・花をあげたのは。　父
・それを見ていたのは。　母

◎ひびき
・花をもらう絵を見る。
・頭に被っているのは。
・花をもらった場所は。
・お父さんはどこへ行くの？

○手引き
・父母がゆみ子にしたこと。

六とく

○事実・区分
・お父さんがしたこと。2と4
・お母さんがしたこと。135
・ゆみ子に一度だけしてあげたことは。　コスモス。
・何度もしてあげたことは。　1と2と5。

（板書）

一つの花
父　ゆみ子
母

1 一つだけ　母
2 高い高い　父
3 おにぎり　母
4 コスモス　父
5 ミシン　母

＜区分＞
・二つに分ける。1～4と5
・そのわけは？　戦中と戦後　父の存否

◎山
・「一つだけ」と言って、ゆみ子がもらったものは。　おにぎり。コスモス。
・本当に一つだけもらったのは。　コスモス。
・お父さんに見せたくなかったのは。　ゆみ子の泣き顔。

○余韻　次は4のところ。

七よむ

第二次指導（第一時）

一よむ　五区画五人

二とく

○おさらい
・1～4と5に分けた。
・ゆみ子がお父さんに何度もしてもらったことは。
・最後にしてもらったことは。　コスモスの花をもらった。

◎承接
・どこにあったコスモスか。
・お父さんからの最後のプレゼント。喜んでくれたか。

○手引き
・お父さんが戦争に行くところを書く。

六とく

○語義
・にっこり
・足をばたつかせて

＜区分＞
・ゆみ子とお父さんに分ける。
・3を二つに分ける。
・お父さんのしたことは？　見て、にっこり笑う。　見つめ、行ってしまった。

◎心
・にっこり笑ったのは、なぜ。　ゆみ子がとても喜んだ。

（板書）

父　5　4～1　高―　花

1「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、だいじにするんだよう……。」

2 ゆみ子は、お父さんに花をもらうと、きゃっきゃっと、足をばたつかせてよろこびました。

3 お父さんは、それを見て、にっこり笑うと、何も言わずに汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている一つの花を見つめながら……。

・何も言わずに行ってしまったお父さん。最後の言葉は1。大事にしたいのは何か。

○余韻
・このときのことを忘れなかったのは誰。　お母さん。

七よむ

令二・七・一一　案